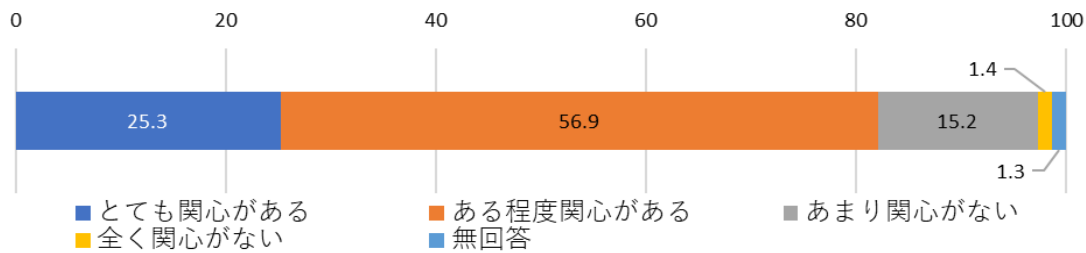


各アンケート調査結果等の概要

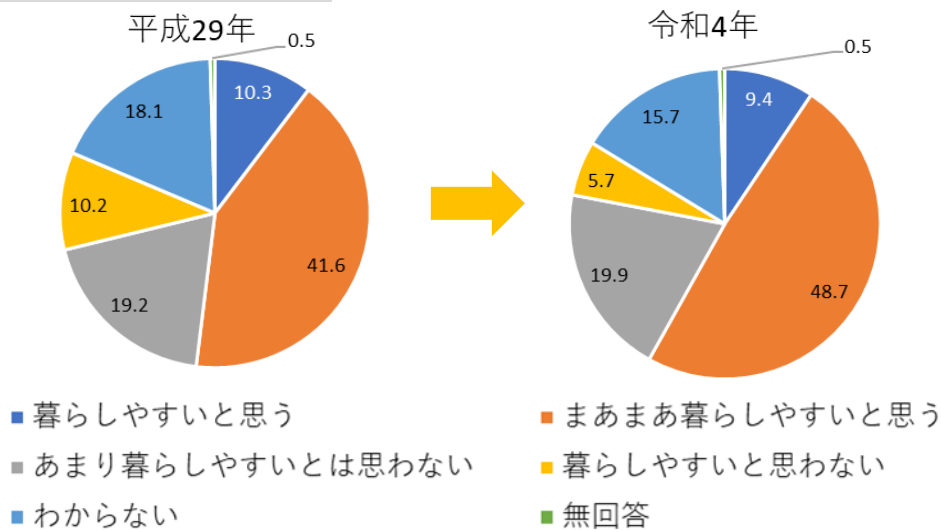
1. 地域の支え合いについての調査(市民アンケート)

調査対象	18歳以上の市民	配布数	3,000
有効回収率	43.2%	有効回答数	1,296

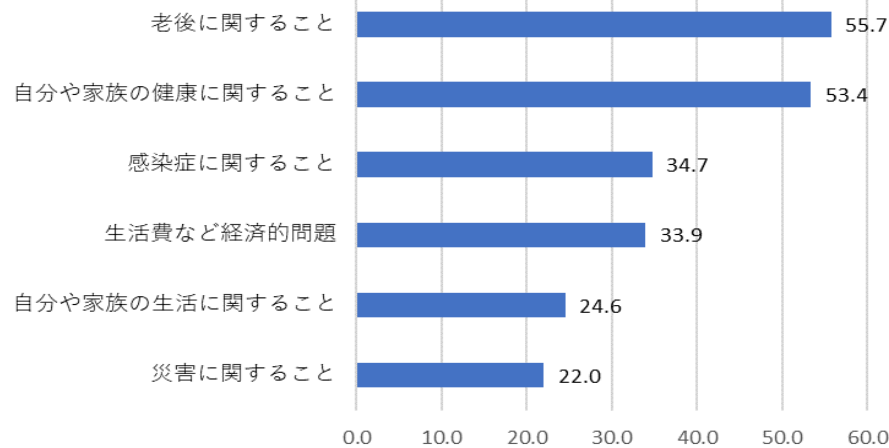
問 11 福祉に関心はありますか



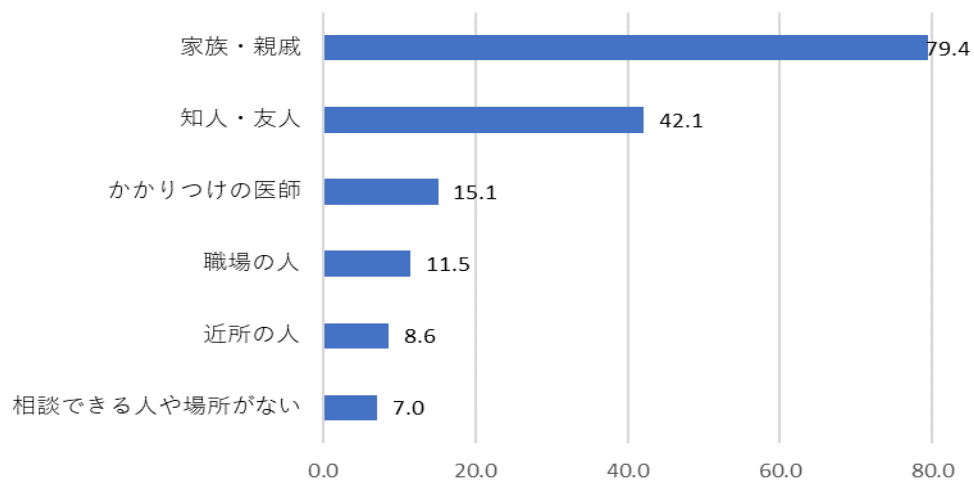
問 12 本庄市は子どもや高齢者、障害のある人、外国籍の人など、誰にとっても暮らしやすいまちだと思いますか



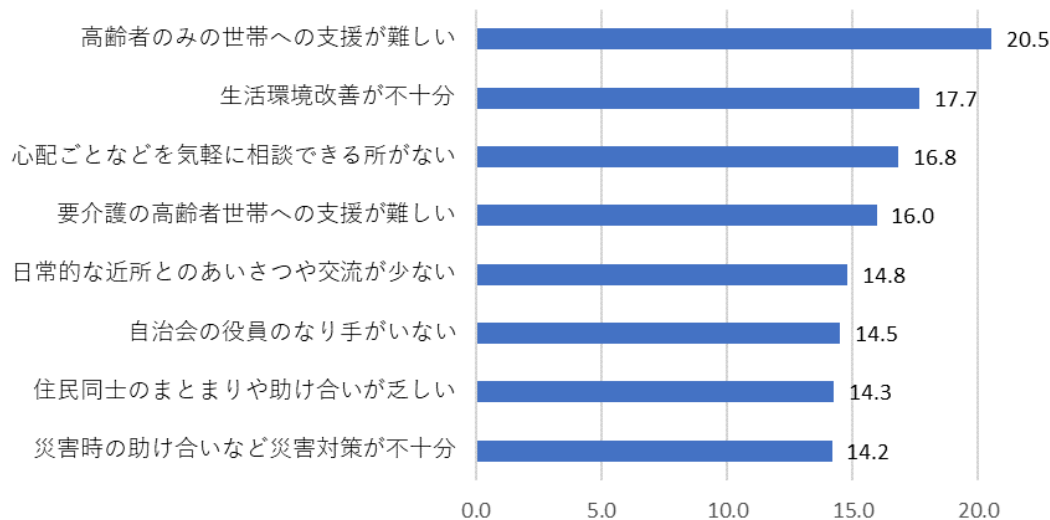
問 19 毎日の暮らしの中でどのようなことに悩みや不安を感じていますか(複数回答)



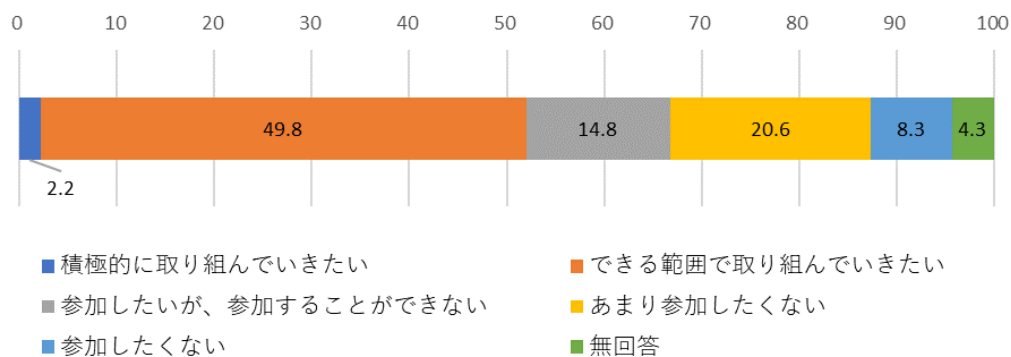
問 20 悩みや不安を感じたとき、気軽に相談できる人や場所はありますか(複数回答)



問 21 地域で今、何が課題だと感じていますか(複数回答)



問 34 今後、地域活動にどの程度参加したいと思いますか



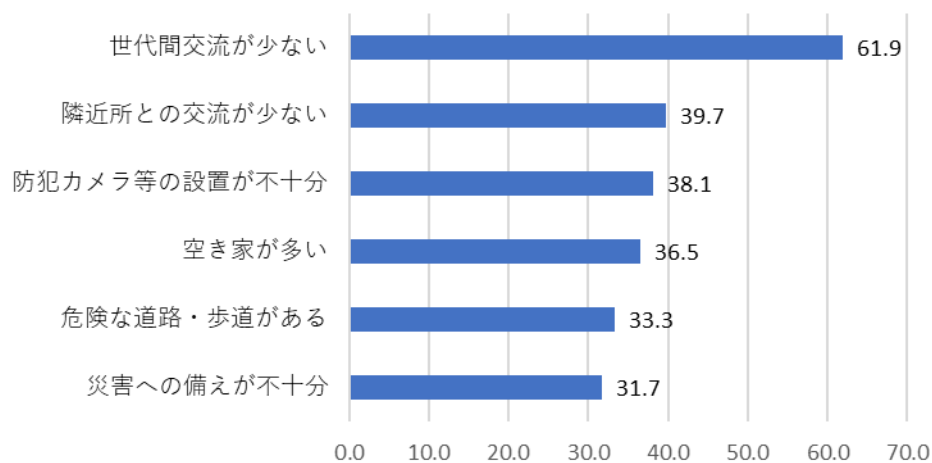
2. 自治会アンケート

調査対象	市内全自治会	配布数	85
有効回収率	74.1%	有効回答数	63

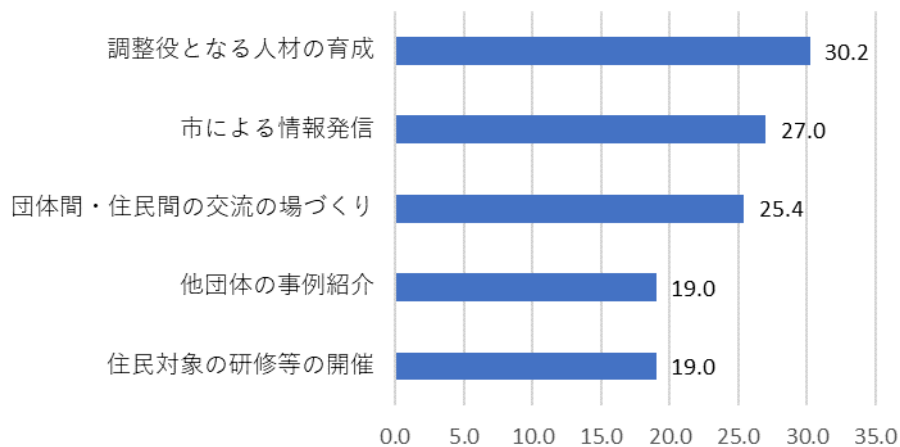
問2 地域の方からの悩みや相談を、何件ぐらい受けていますか(1か月あたり)



問8 自治会活動を行っている地域で感じる問題点は何ですか(複数回答)



問10 今後、身近な地域での情報共有や住民との連携をさらに進めていくために、何が必要と考えていますか(複数回答)



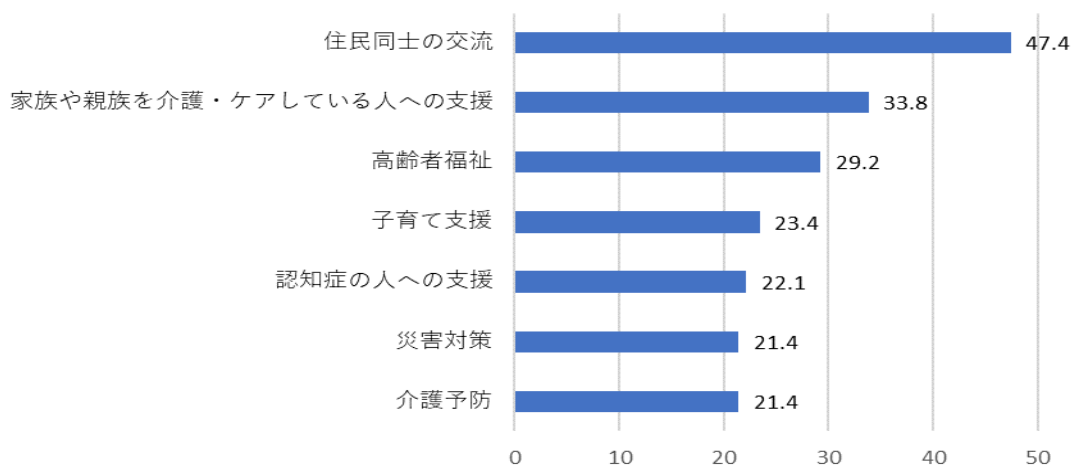
3. 民生委員・児童委員アンケート

調査対象	市内民生委員・児童委員	配布数	179
有効回収率	86.0%	有効回答数	154

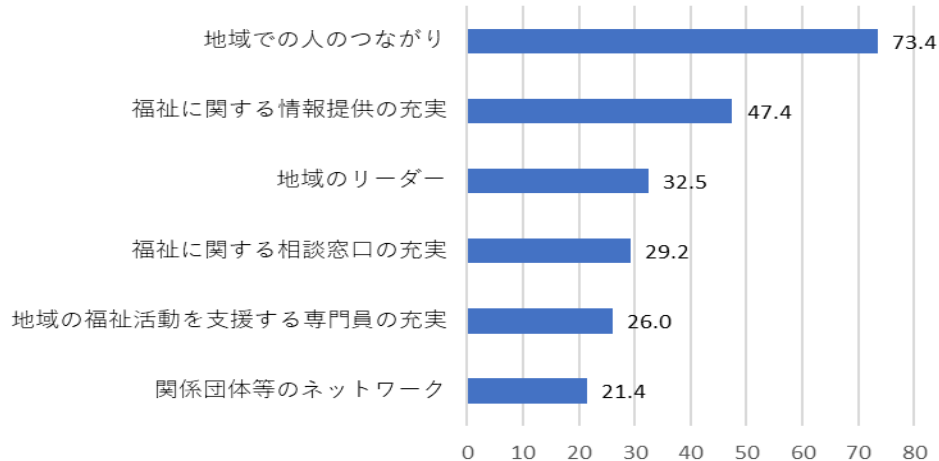
問2 地域の福祉活動は、充実していると思いますか



問4 地域で不足している(今後、充実していく必要がある)福祉活動は何ですか(複数回答)



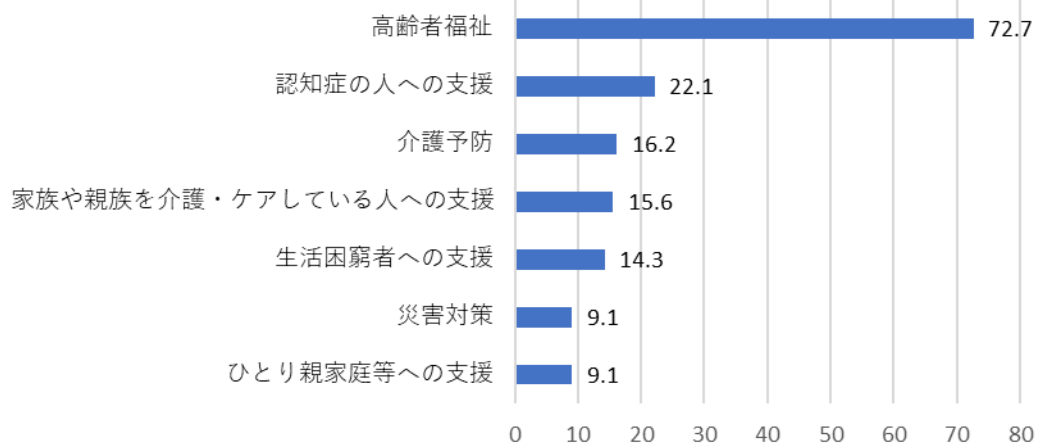
問5 地域の福祉活動を充実していくために必要なものは何ですか(複数回答)



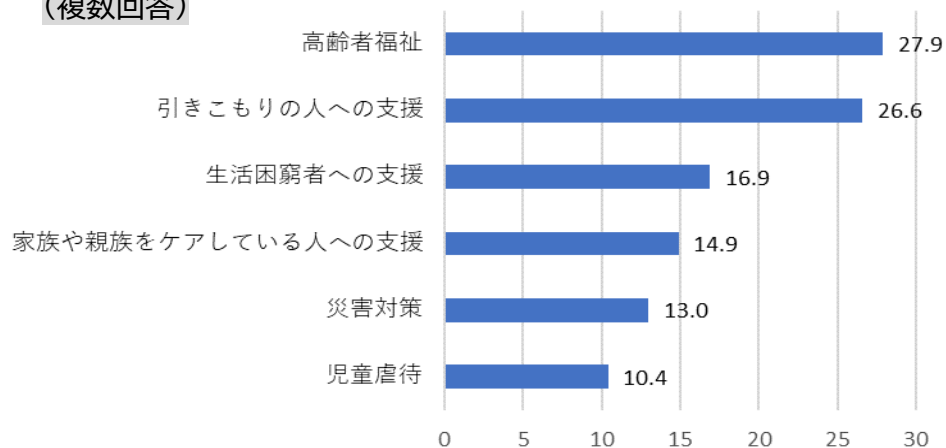
問8 地域の方からの悩みや相談を、何件ぐらい受けていますか(1か月あたり)



問 10 地域の方から受ける福祉に関する相談で、多いものは何ですか(複数回答)



問 11 地域の方から受ける福祉に関する相談で、解決するのが難しいものは何ですか
(複数回答)



4. ボランティア団体アンケート

調査対象	市内ボランティア団体	配布数	65
有効回収率	73.8%	有効回答	48

問4 地域の困りごとを解決するために、必要なことや現在不足していると思うことは何だと思いますか(自由記載)

●人手や環境などに関する意見

- ・ボランティアの人手が不足している、ボランティアを行う人が少なくなってきた
- ・支援体制の構築、移動スーパーや買い物支援等、地域や身近な隣人等の協力が必要
- ・若い人たちの使える資源を増やしていくこと(中略)高齢者サロンがたくさんできたように若者に関しての団体が増えてほしい
- ・包括的な支援体制の整備が必要になってくる など

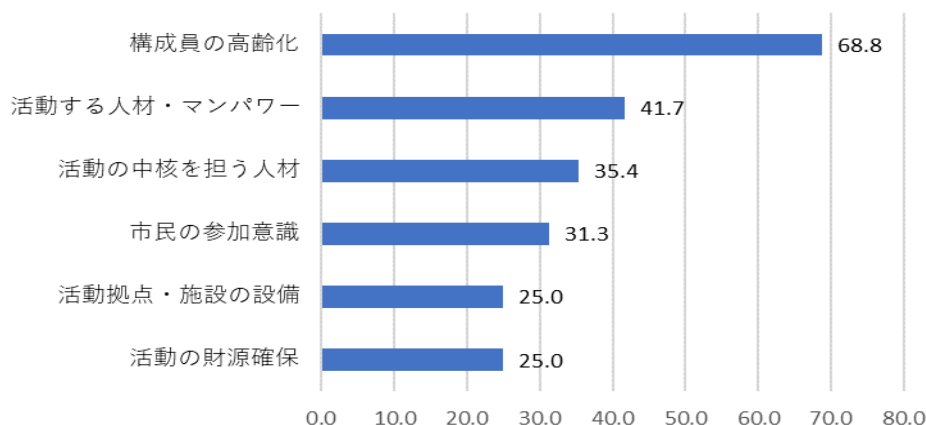
●取り組む姿勢や意識に関する意見

- ・大人の心構えと前向きな姿勢、思いやりが足りない
- ・外へ出ない人がどれだけ悩みや困りごとを抱えているか把握するのが不足している
- ・地域の人たちの助け合い、コミュニティの結びつきが不足 など

●情報発信、伝達手段などに関する意見

- ・同じ悩みを持つ人たちのおしゃべりの場があることの周知(広報など)
- ・介護保険制度や行政サービス等、行政側から情報を発信する取組が必要

問6 現在の活動で課題となっていることは何ですか(複数回答)



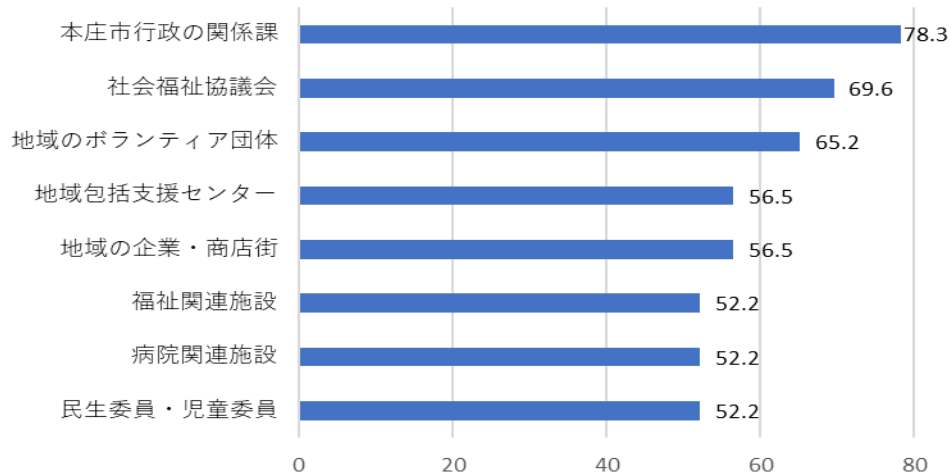
5. 事業所調査

調査対象	市民を対象に福祉サービスを提供する事業所	配布数	33
有効回収率	75.8%	有効回答	25

問2 普段の業務において、対応に困ったケースはありましたか(自由記載)

- 利用者が様々な課題を抱える場合の対応
 - ・一人暮らしの高齢者が認知症や病気になった時の対応が難しい
 - ・障害年金受給者の家族が年金をあてにしており、本人が使えない
 - ・(子育て支援センター)聴覚が不自由な方が来所された時の対応
 - ・糖尿病で膝下切断し働けなくなるものの障害者年金は受給できず、家族の収入で生計を立てているが、医療費もかかり生活苦
 - ・夫が認知症を発症し、妻も視覚障害があり腎臓疾患もある
- 周囲の協力
 - ・認知症がある独居の方で見守りが必要だが、地域住民の協力を得るのが難しい
- 利用者側の意識や態度
 - ・身寄りが遠方の利用者の場合、家族同然のような扱いをされるのは困る。介護は困っている方に何でもできるとしてほしくない
 - ・自己中心的な意見が強く、支援できる事業者が見つからない
 - ・本人と家族の間に意向の違いがあり、退院調整に時間を要した
- 感染症関係
 - ・新型コロナウイルス感染症により、デイサービスや訪問介護などが利用できなかった
 - ・新型コロナウイルス感染者の入院先が決まらず施設内療養となり、感染拡大につながった
- サービスの課題
 - ・日常生活支援総合事業が柔軟な対応になっておらず、軽度の認知症高齢者の見守りに対応ができていない。

問4 今後連携を強化していきたい団体等を御回答ください(複数回答)



6. 地域福祉懇談会・次世代地域づくり会議

(1) 地域福祉懇談会

市内各 13 小学校区に在住、在学、在勤の方を対象として「身の周りに起きている困りごとを解決するためにできること」をテーマに、グループワークを実施

- ・一人暮らし高齢者のサポート、地域の見守り・ボランティア
- ・高齢者の移動手段の確保、買い物難民
- ・農業の後継者、耕作放棄
- ・災害時避難等の対応、医療環境
- ・地域のつながり
- ・空き家・空き地・ゴミ問題
- ・障害者への支援
- ・不登校の子どもへの支援、子どもの教育格差、子どものインターネット利用
- ・民生委員の情報共有、なり手不足
- ・多様な価値観への対応、外国人住民の増加
- ・女性の活躍の場の確保
- ・8050 問題、引きこもり
- ・少子化による地域人口の減少
- ・道路やまちの環境

(2) 次世代地域づくり会議

市内各 4 中学校区に在住の中学生、市内高等学校に通学する高校生を対象として「身の周りに起きている困りごとを解決するためにできること」をテーマに、グループワークを実施

- ・大型商業施設の充実、新幹線や高速道路等の交通網の充実、自然が豊か、農業が盛ん
- ・地域のつながりがある
- ・少子高齢化や魅力不足による人口減少、動画配信などの情報発信、特産品が乏しい
- ・性的少数者やヤングケアラーの把握と対応
- ・土地が有効活用されていない、耕作放棄、空き家
- ・観光資源に乏しい
- ・子ども食堂がある
- ・道路環境、夜間の防犯
- ・学童保育、保育施設等の不足
- ・公共施設の環境
- ・騒音問題